

「運転支障となるタブレット導入に反対する会議」を開催！

1月27日、JR東海労静岡地本と名古屋地本は静岡地本事務所において、「運転支障となるタブレット導入に反対する会議」を合同で行いました。この合同会議では、会社が昨年末から順次、試行と少しずつ導入した運転士タブレットに対する問題を出し合い、安全を阻害しているタブレット導入反対に向けて地本間で連帯して闘いを作り出すために意見を出し合いました。

冒頭は名古屋地本山田委員長からの「職場では導入時に比べるとタブレットに慣らされつつあるが、問題は一向に解決されていない。もう一度問題をはっきりさせていこう」との挨拶から始まりました。続いて急遽、駆けつけてくれた、本部木下書記長から「タブレットの問題は安全問題である。地本が連帯する闘いを作り出したことに感謝する」と挨拶を受けました。続いて、両地本の業務部長からこの間の取り組み、議論経過を出し合い闘いの共有化を行いました。

議論の内容は、

- ☆3～4年前に乗務鞆が重いので規程類をペーパーレス化できないかということで会社と話をしてきたが、今回のタブレットは目的が全然違う物であった。
- ☆訓練時にタブレットが足りない状況や教える指導助役も分からないことが多すぎ訓練になっていない状況だった。
- ☆旅客を乗せた列車で試験をしているような物であり、非常に問題が多い。
- ☆出発時、乗り継ぎ時、折り返し時、乗務終了時などやることが多く、明らかな労働強化である。
- ☆ワンマンミラーが見えない、付いていた車内ミラーを外すなど安全を置き去りにしている。などの意見を中心に議論を行いました。

締めでは、静岡地本植松委員長から「在来線で共有・共通する闘いが作り出された。導入反対の闘いを作り出しながら、次の闘いを作っていく。ホーム上の安全、列車運転時の安全を確保する闘いと労働強化に反対する闘いを同時に作りだそう」とまとめの挨拶を受け会議は終了しました。

もちろん、会議終了後は、静岡の地元料理で親睦を深めてきました。

名古屋地本は静岡地本とさらに団結を深め安全確保の闘いを進めていきます！